

作業會計法

第一條 左ノ作業所ハ其事業ヲ遂行
スル為メノ固定資本据置運轉資本ヲ
置キ作業上ノ收入及其附屬租收入
ハ作業直接ノ費用ニ充ルエトテ計
三特別ノ會計ヲ立テシム但事務ニ
屬スル作業間接ノ費用ハ總テ一般
ノ會計ニ依テシム

第一 造幣局

第二 印刷局

才三 富岡製絲所
 才四 電信燈台用品製造所
 才五 廣島廣山
 鏡山

才二 奈 各作業所ニ於テ從來使用ニ
 及將來増加スル所ノ土地建物軌道
 其他築造道路船舶機械永遠保存品
 其他重要ナル器具ヲ以テ固定資本
 トナシ從來ノ營業資本類ヲ以テ据
 置運轉資本トス

亦三條 各作業所特別会計ノ歳出額
ハ豫美定額内ニ於テ實際ノ歳入及
据置還轉資本ノ合計額ヲ超過スル
ヲ許サス

方四條 固定資本ノ維持修理正補充ノ作業
三 特別會計ノ歳入ヲ以テ支弁ス

一

才五奈 作業所ノ純益及固定資本ニ
属スル物件ノ賣却代金ハ悉ク一
ノ歳入ニ編入スヘシ

方六条 政府、毎年各作業所特別会
計ノ歳入歳出豫美ヲ調製シ歳入歳
出ノ実豫美ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ
提出スハシ

第七條 各作業所特別會計ノ收入支
出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ
定ムル所ノ規則ニ依ラシム

第八條 本法ハ明治二十三年度ヨリ
施行ス其帝國議會ニ開テスルモノ
ハ帝國議會開會後ノ會計年度ヨリ
施行ス